

平成 27 年 1 月 9 日

平成 26 年度第 2 回理事会議事録

開催日：平成 27 年 1 月 9 日午後 2 時 00 分～3 時 00 分

場 所：日本電子株式会社筑波支店会議室

出席者：森田代表理事、太田理事、河原理事、四ノ宮理事、柴田理事、鈴木理事、高菅理事、高田理事、田辺理事、中野理事、藤峰理事、細野理事、尹理事、塩野監事

1. (議長選出)

定款 39 条「理事会の議長は会長がこれにあたる」に基づき会長森田昌敏氏が議長を務める。司会は事務局を務める。

1. (定足数について)

定款 40 条により全理事数 (18 名) の 2 分の 1 以上 (9 名) とあり、本日の出席者 13 名出席であり定足数を満たしており、また監事も出席しており理事会は成立する。

2. (議事録について)

議事録は事務局が記録・作成し第 44 条により議長及び出席した代表理事並びに監事の署名・押印をし本学会HPへ掲載する。

(本日の議案審議)

第 1 号議案 幹事会組織の再編成の件

- ・幹事会活性化を計るため事実上活動停止している部会をどう改めるか
- ・組織にどのような課題を与えるかが重要
- ・既存部会と他の部会との統合や名称変更など
- ・アスベスト・土壌部会は本学会活動に合致しているか
- ・メンバーの引退から活動力が弱まっている部会 (塩素・オゾン処理)
- ・国際企画部会を拡充する為、本部会に各種委員会を設置する。
- ・事務局部会は組織上必要ない。事務局は理事会に直属しているため
- ・公開セミナー部会は事実上高校環境賞のみを運営しており公開セミナーは開催していないので名称変更する
- ・公開セミナーは講演会企画部会に含める。
- ・地区担当の有効利用 (地方での広報活動など)

など議論がされた。

編成組織としての結論は

- ①事務局部会は廃止する。
- ②公開セミナー部会は高校環境賞部会と名称変更する。
- ③塩素・オゾン処理・水質浄化部会は水質浄化部会と名称変更する。
- ④情報部会は廃止する。

この新組織表を基に来年度幹事会組織を編成する。

第2号議案 役員推薦委員会メンバーの選出の件

メンバーとして森田・鈴木・田辺・高菅・尹氏の各理事が選出された。

開催時期としては本年3, 4月頃開催予定。

その他

①海外協力について

ICAEC2014にて得られた収益を還元するために意見交換を行った。

国際企画部会内へ各種委員会を設置し下記の支援策を検討する。

・ダイオキシン国際会議の誘致活動支援(2019年)、PCB国際シンポジウム(2016.10)への支援、日韓シンポジウム開催(2016.6)への支援など

・技術協力

・環境省規格やJIS規格などで掲載された分析法の英文化を進める。


②会員拡大について

・ICAEC2014に参加していただき好評であった早稲田大学などの新規大学ユーザーを誘致する。

・討論会などで若手集会を企画し若い研究者を拡大する。その為には討論会参加費・交通費・年会費など支援を行う。

議長により平成26年度第2回定例理事会の議案審議が終了したことが宣言され、閉会した。

署名人 代表理事

森田 昌文 

監事

塩野 宗 